

2021 年 9 月 16 日

通貨ニュース

マレーシア: ムヒディン首相辞任後の政治動向について

ムヒディン前首相の辞任表明から1か月が経過した。その後、イスマイルサブリ・ヤーコブ前副首相が 8 月 21 日午後にクアラルンプールの王宮で開かれた宣誓式を経て、第 9 代首相に就任するなど新政権の発足の動きも見られている。今回は直近 1 か月の政治動向につき改めて整理することとしたい。

ムヒディン前首相は先月 15 日に自らの率いるマレーシア統一プリブミ党 (PPBM) の議員に辞意を伝えた。連立政党の一角をなす統一マレー国民組織 (UMNO) の所属議員による政権離脱が相次ぎ、議会の過半数を維持できなくなったことが決め手となった(*)。16 日にムヒディン前内閣が総辞職し、後任として複数の候補が挙がったものの、最終的には与党連合の最大勢力であった UMNO 出身のイスマイルサブリ副首相(当時)がコロナ禍における働きが評価される格好で、連立政権内での支持を集めて首相に就任することとなった。

こうして総選挙を経ることなく PPBM から UMNO へ政権交代が実現することとなったが、UMNO はナジブ元首相が所属する政党で、政府系投資会社をめぐる汚職事件が露見し、18 年の総選挙では下野した過去がある。こうした背景から PPBM を中心に、UMNO 出身者に偏った閣僚人事とならないよう牽制する動きも見られた。その結果、先月 27 日に閣僚名簿が発表され、新型コロナウイルスの感染拡大が続く状況もあり、32 人の大臣のうち新たな顔ぶれは 5 人に留まり、ナジブ元首相の入閣も見送られた。イスマイルサブリ首相は会見で新閣僚には経験豊富で、経済再生を実現できる人材を選んだと強調するも、新鮮味に欠ける人事であったという野党の批判の声も挙がった。

イスマイルサブリ新政権もムヒディン前政権と同様に複数の政党による連立政権であるため支持基盤が盤石ではないという課題は残る。議会の反発を避けるためには連立政権を組む政党、ひいては野党の意見も蔑ろにできないといった状況は継続する見込みである。加えて、ムヒディン前政権が総辞職に追い込まれたのは、UMNO が次回総選挙では PPBM と共闘しないと決定したことも影響したものと考えられ、今後この指針を見直すことなども想定される。

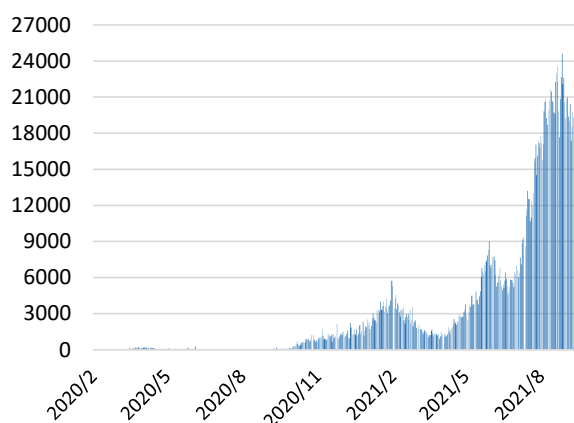
かかる状況下、イスマイルサブリ政権は今月 13 日、野党連合と政治的な争いを休止する覚書を結んだ。法案可決時に野党の協議を経ること、首相任期を最長 10 年に制限するなどの内容を組み入れることで野党の協力を仰ぐものとなった。新型コロナウイルス対策と経済再建に集中させることを主眼としているが、政権基盤を固めることも意図する側面も含まれていると見られる。

以上の経緯を踏まえ、ムヒディン前政権の退陣による政治混乱はひとまず避けられた格好となっている。また、直近 1 か月間で国内でのデルタ株の感染拡大がピークアウトした状況となっており、MYR は直近でやや値を戻す展開となっている(図表 1、2)。とは言え、イスマイルサブリ政権は引き続き他政党の動きも意識しながら慎重に指揮を執る必要がある。加えて、イスマイルサブリ首相は

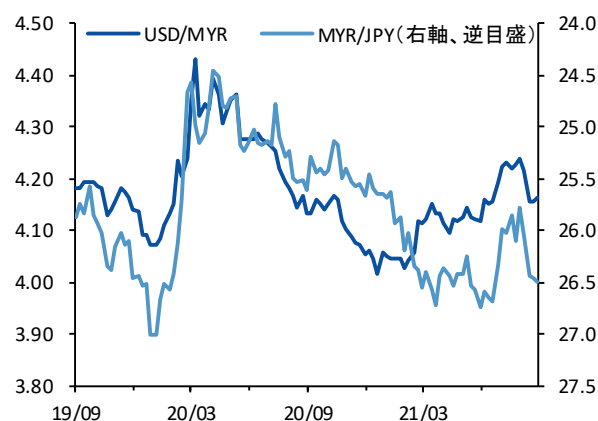
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

*詳細は 8 月 16 日発行の通貨ニュース (ムヒディン首相が辞任表明～後任は未定で政治不安が表面化) をご参照ください。

UMNO の中でも最高権力者ではないため、ザヒド UMNO 総裁や党内有力者らとの党内調整にも注意を払うこととなる。また、新型コロナウイルスの抑制に関しても、現状 1 度以上のワクチン接種を完了した割合は 50%を優に超え、ASEAN 域内にてワクチン接種が進んでいる点は評価すべきながら、ここから経済制限措置の緩和と実体経済の回復に結び付くかどうかはイスマイルサブリ政権の手腕による部分が大きい。足許の MYR の上昇は一過性となってしまう可能性も残しており、改めて今後の政治経済動向から為替動向を予想していく必要があるだろう。

図表 1: 新型コロナウイルスの新規感染者数推移(日次、人)


出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 2: MYR 相場動向


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。